

若鷲杯

遠い頂…4位入賞

『予選』

十二月十二日、洛南浄化センターにて若鷲杯が開幕した。Jチームは三試合を大差で勝利し、幸先のよいスタートをきった。翌週の十九日（美山G）。大雨に加え、ユウダイの不在、セイの負傷という波乱の展開の中、メンバーはその日を二勝一分で終え、文句なしの予選一位通過を果たした。



絶対に、負けられない戦いがそこにはある！

『対 Neo』

十一月二十三日、太陽が丘で行われた一位グループのトーナメント。初戦であったJFC・Neoチームとの一戦は、一進一退の緊迫したゲームとなった。一瞬のすきをみて先制のゴールをきめたJは、ディフェンス陣（ユウジ、ユウト、カズキ、GKタイキ）を中心に全員が一丸となってNeoの反撃を封じ、一対〇で勝利。関西大会京都予選への進出を早々と決めた。



【撮影・ユウダイ父】

『準決勝』

Neo戦を制した後、Jが迎えた相手は強豪宇治翔。先制点をきめたものの、終了間際に逆転を許し、一対二で惜敗。あと二歩及ばず、決勝に進むことはできなかった。

対戦結果

- 《一日目》
 ①ソルセルB…4対0
 ②大久保…5対0
- 《二日目》
 ③鷲峰…5対0
 ④精華…0対0
- 《最終日》
 ⑤長岡Neo…1対0
 ⑥宇治翔A…1対2
 ⑦田辺A…0対1

全四十八チーム中
 第四十四位

頂点への道

優勝まであと少し、おしかったですね。一戦一戦を勝ち抜いていくことの難しさ、そしてその道のりの険しさを、この大会を通じて改めて思い知らされました。でも、結果に満足してはいないJのみんなの悔しい顔を見て、本当に成長したなと実感しています。Neoにも言えるけど、誰が欠けても…



誰が欠けても…

誰が欠けても高いチーム力を維持できるようになれば、夢をつかむチャンスに手が届くはず。気持ちを一つにしてがんばってほしいね。今後の活躍、楽しみにしています。



♪カッツたせ
 DOOザと根性
 男は汗かいて
 ベリかいて
 GOO

編集後記

久々に同じ舞台での大会でした。チームごとに別々のスケジュールで動くことが増えてきました。スピード感あるJの試合を見るたびに、チーム力が上がっていると感じさせられます。

監督をはじめ、コーチ陣を含む保護者の皆様には親子ともどもいつもお世話になり、本当にありがとうございます。Neoともに刺激しあい、JFC全体がレベルを上げていけるよう、これからも盛りたてていきましょう。

※対Neo戦では全員が素晴らしいプレーをしています。お互いの守備が持てよかったです。記事に取り上げました。

